

第 10 回政策推進部会における主な指摘事項と対応方針（案）

(1) 市町村アンケート調査結果

■取組状況の結果・整理について

主な指摘事項	対応方針（案）	該当ページ
<p>○コミュニティバスや有償運送に対する取組の有無について、運行するために計画をつくる必要があり、関係性があるのではないかと。 （若菜専門委員）</p> <p>○シートBの取組状況も、取組内容によって課題・傾向が異なる可能性がある。（日野専門委員）</p> <p>○計画策定から廃止代替バスまで、取組のレベルが異なり、色々なパターンがあるはずだと思う。例えば、コミバスのみ、コミバスとデマンド、デマンドのみといった中で、必ずしも取組が継続していることが100%に達しなくても良いのではないかと。 （徳永専門委員）</p> <p>○継続中の比率を取組内容別に並べたらわかりやすいのではないかと。 （若菜専門委員）</p>	<p>→取組状況の比率の示し方については、若菜専門委員の指摘に基づき、「取組継続中」(場合によっては「今後予定」「終了」等を含む)の比率を、取組継続中の高い順序に並べる形で整理する。 (※都市の特性別の比較(人口規模別・密度別等)を行うことから、東北全体での取組継続率の高い者から順に並べることで対応する)</p> <p>→また、若菜・日野両専門委員指摘に基づき、取組内容間の関係についても、追加集計を行いながら、傾向について分析する。</p>	<p>資料 2-1 P4～10</p> <p>資料 2-1 P11等</p>

■市町村に対する財政支援について

主な指摘事項	対応方針（案）	該当ページ
<p>○アンケートの分析について、財政支援に注目しているが、各自治体の財政力（指数）等とあわせて分析されるとよいのではないかと。また、予算の配分の問題も想定される。（今野専門委員）</p>	<p>→指摘に基づき、「財政力指標」等の他データとの組合せによる集計・分析を進め、傾向を把握する。</p>	<p>資料 2-1 P10, 15</p>

■市町村における課題・工夫について

主な指摘事項	対応方針（案）	該当ページ
<p>○重要なのは、「必要性を感じているか」の段階と思われる。特に、必要性を感じてもない市町村にどう感じてもらうかが重要であり、必要性を感じなかった理由について分析できないか。（若菜専門委員）</p> <p>○動機付けを図るための分析が必要と感じる。（日野専門委員）</p> <p>○小規模自治体で計画策定が少ないという傾向だが、クロス集計だけでなく、元データから少ない自治体を個別にみて、事例的に取り上げて良いのではないか。（日野専門委員）</p>	<p>→若菜専門委員指摘に基づき、例えば、シート G における「(2)検討しなかった背景」や「(4)取組の必要性がなかった背景」等について集計の上、分析する。</p> <p>→また、日野専門委員指摘の通り、サンプル数が少ない場合には、個別の課題・工夫としての抽出を図っていく。</p>	<p>資料 2-1 P16 等</p>

■事業者の取組・意識改革について

主な指摘事項	対応方針（案）	該当ページ
<p>○施策としての希望だが、相談相手について事業者が 1 位である状況を踏まえると、事業者にいかに関心を持ってもらうかが重要ではないか。事業者の企画部門の取組を公表するといった国の事業についても良いと思う。（若菜専門委員）</p> <p>○事業者の意識改革は重要な課題である。（徳永専門委員）</p> <p>○事業者に限らず、「我が事のように考えないとだめ」といった意識が浸透されるとよい。どの主体でも地域ファーストな考えに立っていれば問題が幾分解決されるだろうが、そういった人がいないのが実情で、このような結果となっているのだろう。（奥村部会長）</p>	<p>→アンケートの元データから、事業者との役割分担や、事業者と協働による工夫事例等を個別に抽出する。</p> <p>→その他、工夫事例等に基づき、事業者としての役割について、資料③報告資料内で言及する。</p>	<p>資料 2-1 P31</p> <p>資料3 P18～19</p>

■データの取扱について

主な指摘事項	対応方針（案）	該当ページ
<p>○津波被害のあった沿岸市町村の取扱はどうするのか。（徳永専門委員）</p> <p>○特に財政的な部分では状況が異なる。また、まちが変わってしまい、計画策定自体にも進めないところもあると思う。データについては確認して欲しい。（奥村部会長）</p>	<p>→津波被害を受けた沿岸市町村のデータを分けて集計・分析し、他の市町村と異なる傾向がないかを確認。</p> <p>資料には掲載していないが、結果として、回答比率・構成に大きな差が認められなかったため、合算して東北全体の傾向として提示している。</p>	—
<p>○自由記述はどのようにまとめる予定か。自由記述の中にも、この観点からの補助が欲しいといった新しいメニューの参考となる意見が出てくるかもしれない。（宮原委員）</p>	<p>→内容を確認の上、主体（市町村の種類）別・取組内容・段階等別に整理した。</p>	資料 2-1 P36～39

(2) 工夫事例について

■工夫事例の整理内容について

主な指摘事項	対応方針（案）	該当ページ
<p>○整理結果を見るだけでは、取組の継続性が分かりづらい。どう続けられているのかに着目できるか検討して欲しい。アンケートでは財政支援に着目している中で、工夫事例についても予算ありきだからできたのか、補助を有効に活用したのか、等も分かれば、参考になると考える。（宮原委員）</p>	<p>→各事例について、行政からの財政支援状況、国や県等の補助活用状況等を情報収集の上、追加で整理する。</p>	資料 2-2 全ページ

■事例の整理追加候補について

主な指摘事項	対応方針（案）	該当ページ
<p>○県の事例関係で、山形県最上地域で、市町村と共同で研究しているものがあるので、参考にして、可能であれば事例集に追加して欲しい。（若菜専門委員）</p>	<p>→指摘に基づき、事例調査を実施し、事例集に追加する。</p>	資料 2-2 P25

(3) 報告資料骨子案について

■各主体の役割について

主な指摘事項	対応方針（案）	該当ページ
<p>○各主体の方向性を明示するのはよいが、主体間がどのようにつながっているのかを明示した方がよい。現状、つながっていないから、アンケート結果のようにうまく取組が進んでいないのではないか。問題解決に向けては、国から現場へどのようにつなげていくのか、書き込んでいくことが必要と考える。（宮原委員）</p>	<p>→以降の他の委員・専門委員からの意見とも合わせ、記載対象とする主体を明確にした上で、地域公共交通の確保・維持に向けた主体間の関係性を表す図等を挿入するなど、わかりやすい表現方法について検討する。</p>	<p>資料3 P18</p>
<p>○各主体の役割の記述順序だが、果たして「国→県→市町村」なのか。市町村が最初の方がよいのではないか。（日野専門委員）</p>	<p>→記載対象とする主体を明確にした上で、順序について検討する。</p>	<p>資料3 P18～21</p>
<p>○各主体の役割としては次の方向性が考えられる。（若菜専門委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国について、他の主体のどこが対応すべきかわからないような問題については、国に取り組んでいただけると、現場としても助かるのではないか。 ・県については、実態として県補助が活用されているものの、出しているだけ、というのが現状である。効果的に使われているかについて評価すべきである。 ・市町村については、まちづくりと一体となって考えるべきと言うコメントが欲しい。地域公共交通に対しては市町村が責任を持つ時代となっていることを認識して欲しい。 ・その他であるが、事業者については項目を起し、責務を記載すべきと考える。 	<p>→指摘を参考に、各主体の役割について検討・言及していく。</p>	<p>資料3 P19～21</p>

■課題及び工夫の視点の整理について

主な指摘事項	対応方針（案）	該当ページ
<p>○P6～7の①～⑤の視点は理解できるが、課題ごとへの対応・工夫という整理の方がわかりやすい。（若菜専門委員）</p> <p>○P7 4.（1）について、特に①はスタート段階としての重要性を示した方がよい。（若菜専門委員）</p>	<p>→指摘に基づき、わかりやすい表現に工夫する。</p>	<p>資料3 P16～17等</p>

■課題について（クロスセクターベネフィット）

主な指摘事項	対応方針（案）	該当ページ
<p>○P6で「他分野連携」を掲げているが、これ自体が現状から見ると抜本的な対応である中で、⑤の記述が少なすぎないか。（徳永専門委員）</p> <p>○アンケートについて、庁内関係者との調整が困難という指摘が少ないが、実はそのような調整の必要性を気づいておらず、そもそも発想がないのではないか。やむを得ず調整が必要なときにだけ実施している程度ではないか。場合によっては、始業時刻を若干変更するだけで、非常に効率的に運行を確保できる場合も想定される。（徳永専門委員）</p> <p>○P7の図で「クロスセクターベネフィット」という表記があるが、誤解のないよう、また重要性を大きく訴えかけられるよう、記述を工夫して欲しい。（今野専門委員）</p>	<p>→他分野連携やクロスセクターベネフィットの考え方は、今後の交通施策を推進する上での重要な視点の一つと想定されることから、その重要性がわかりやすくなるよう、表現方法及び構成について再検討する。</p> <p>→必要に応じて、「クロスセクターベネフィット」等馴染みにくい単語については、注釈をつける等の工夫を検討する。</p>	<p>資料3 P17</p>
<p>○クロスセクターベネフィットに関わる事例は何かあるか。（奥村部会長）</p>	<p>→部会での事務局回答の通り、富山の事例等を参考に、クロスセクターベネフィットに係る説明の追加について検討・調査する。</p>	

（以上）